

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	子宮体癌および子宮内膜異型増殖症患者に対する GIP/GLP-1 受容体作動薬使用による腫瘍遺伝子プロファイリングへの影響に関する探索的研究	
1. 研究の目的と方法	子宮体癌や子宮内膜異型増殖症は2型糖尿病や肥満がリスク因子となり、これらが引き起こす代謝異常と子宮内膜細胞の発がんとの関連が疑われています。チルゼパチド（マンジャロ®/ゼップバウンド®）は2型糖尿病に対して適応のある薬剤で、血糖コントロールや体重減少効果が期待されています。本研究は、チルゼパチドの血糖降下や体重減少作用が、子宮体癌や子宮内膜異型増殖症に与える腫瘍学的な影響について調査することを目的としています。 別途当科で実施している「婦人科腫瘍の発生、進展に関与する遺伝子変化の検討とその分子標的治療の開発-バイオリソースバンク・データベースの構築-(受付番号：28-083(8326))」（以下、バイオバンク研究とする）で同意を得られている方から、腫瘍検体におけるチルゼパチド使用前後の腫瘍における遺伝子・タンパク質の変化についての調査を行います。 本研究は、附属4病院において子宮体癌および子宮内膜異型増殖症に対する手術を施行した患者の診療記録・病理検体を用いた観察研究であり、新たな検査・採血・問診等はいりません。 収集した情報は匿名化した上で解析し、個人が特定される形で公表することはありません。	
2. 研究期間	・ 研究実施予定期間：倫理委員会承認日から2034年3月31日まで ・ 症例登録期間：倫理委員会承認日から2029年3月31日まで ・ 観察期間：倫理委員会承認日から2034年3月31日まで	
3. 対象となる方等	慈恵医大附属4病院（本院・葛飾医療センター・西部医療センター・柏病院）で、2023年4月1日～2029年3月31日の期間に、子宮体癌あるいは子宮内膜異型増殖症の診断で手術を行った18歳以上の方。かつ、バイオバンク研究で同意された方。なお、チルゼパチドを術前に投与されなかった方も非使用群として本研究の対象となります。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	血液、手術の時に切除した組織
	(2) 試料の取得の方法	血液は術前に10-20ml程度採取します。腫瘍は手術時に摘出された検体から診断に関与しない量を採取します。これらはすべてバイオバンク研究で採取された試料を利用します。
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、治療情報（薬剤投与、手術内容）等
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。また、バイオバンク研究で取得されたデータを二次利用します。

5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	矢内原 臨
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤 千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 細谷 聡史	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026 年 10 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：准教授 矢内原 臨（やないはら のぞむ） 窓口担当者：助教 細谷 聡史（ほそや さとし） 電話番号：03-3480-1151 対応時間：平日 9:00 ～ 17:00／休診日を除く		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。